

新たな品目としてレモンを導入し経営安定を図る！

～令和3年度「農業経営改善研修」の開催～

安房農業事務所改良普及課 令和3年12月23日発

安房地域では、約40年前からレモン栽培が進められていますが、近年、新たに取り組む生産者が増加し、栽培面積が急速に拡大しています。そこで、農業事務所では、広島県果実農業協同組合連合会東京支所 及川所長、(一社)千葉県食品工場協議会 川原幹事長、農林総合研究センター暖地園芸研究所 小野瀬研究員の3名を講師に、販路や栽培技術についての知識を習得するための研修を12月14日に開催しました。

研修会には50名(うち生産者44名)が参加し、生産者からは「リアルなレモン市場を知ることができて有意義だった」、「導入規模を考えるきっかけになった」など関心の高さが伺える感想が多く聞かれました。また、「レモン栽培導入の優良事例をもっと知りたい」、「安房地域に適する他の果樹類についても知りたい」との要望もありました。

農業事務所では、今後も安房地域の特徴を活かした農業生産振興に取り組んでいきます。



広島県果実農業協同組合連合会の
講義で国内レモン市場を学ぶ



農林総合研究センター暖地園芸研究所
レモン栽培ほ場を見学